

## Leader training association

### 指導者 研修会

明るく前向きに挑戦し続けることが大切。

遠山塾主より、現役塾長が直接指導いただく場として、川本塾頭・久米副議長・川澄委員長にも参加していただき、平成16年12月6(月)に開催されました。塾主よりいただいたお話は、「挑戦」という言葉に集約されると思います。強いリーダーシップは、自信がつくる。志を持ち、目標に向かってまい進する。目先の問題点や思うようにならない結果に思い悩むうちに、志や目標を見失ってしまいがちであるが、どんな結果になろうとも、明るく前向きに挑戦し続けることが実現に一歩近づくことになる。だから、結果を恐れず、志をもって挑戦しなさい。とご教示いただきました。

また、その後、現役塾長から、自塾の具体的な事例を話していただきました。塾長は、自塾の塾生に対し、「1人1人」として接し、愛し、ゆえに悩みもあります。塾主は、ひとつひとつ的確にとらえて、志に照らし合わせ、お話をされます。塾主とたくさんのお話をさせていただくなかで、より深く人間学を学ぶ場となりました。峠には、「志は、塩のように溶けやすいものだ」とおっしゃいます。人には、強さと弱さの両面がありますが、常に、自分自身と対峙すること。先述と重複しますが、『志を持ち続け、挑戦し続ける人であること』それが、リーダーであり、経営者であると思いました。

(第28青経塾 荒川雅博)

## Seminar report

### ゼミ報告

平成16年12月2日

### 経営に活かす会計

杉本ゼミ / 杉本敦永ゼミ長

2期目を迎えた杉本ゼミは『中小企業の経営者やそれに準ずる人の経営に役立つ会計知識の習得』を目的とし、32名のゼミ生と共にスタートした。

学術的なゼミですと語るゼミは、回約3時間半を6回の講義形式で行われる。服装も飲食も自由、形にとらわれず気楽な雰囲気に参加してほしいという。内容は、ホワイトボードにびっしり書かれてゆく会計用語に圧倒されながらも、そのスピードやゼミ生の会社の事例を取り上げるなどの工夫で時間があっという間に過ぎてゆく。また、途中で休憩時間を設け個々の会社形態に応じた質問を受け付けるなど、ゼミ生が会社ですぐに使えるような配慮を随所に感ずるスタイルをとっている。

こうしたきっかけは、入塾2年目から塾生の会社で朝6時半から数人で勉強会を始めたことだったという言葉の通り、視点は常に中小企業経営者に置いている。そうすることにより自身の視野も広がったという。



会計学を学ぶのではなく、経営の両輪として「売上と費用のバランス」「利益をどうキャッシュとして残すか」をこのゼミで掴んで、どんどん行動できるようにすることを役目と考えている。講義中のさまざまな業界に合わせたアドバイスは実践的で、ゼミ生の姿勢も真剣である。

特別な技術力などのない中小企業においては「ママ」「丁寧」スピードなどを売りにしているところが多いが、さらにこのゼミで学んだことを生かしていくことで、勝ち残る方向性も見えてくる。社是『私たちは、日本をよくするために、行動します』のもと、行動している杉本氏のゼミへの情熱的な姿に、ゼミ生企業発展への強い思いを感じた。

(第32青経塾 可児康充)